

報道機関 各位

2020年5月1日  
愛知中小企業家同友会  
専務理事 うちわ ひろゆき  
内輪 博之

## 緊急事態宣言の延長に寄せて（専務理事談話）

去る4月7日に発出された緊急事態宣言が5月6日に期限を迎えるなか、今回延長が決定されました。緊急事態宣言発出後から現在まで、感染確認者数は大きく減少するには至っていないこと、また感染爆発が生じた際に、医療がそれに対応できない医療体制の逼迫状況が継続していることから見ても、人命を最優先とするなかでの今回の延長は許容せざるを得ないものと理解しています。

他方、すでに各機関より指摘されているように、今回の緊急事態宣言、それにとまなう外出自粛や休業などの要請は、経済活動の大規模な停止・停滞をもたらし、過去に経験のない経済危機を招いています。中小企業経営者は、社員とその家族を守るために懸命の努力を続けていますが、この状況下では、それも限界に近づきつつあります。

ここで中小企業が倒れれば、終息後の景気回復は期待することすら叶わないことは疑うべくもありません。企業を存続させ、雇用と人々の生活を支えるためにも、早急な補償とその規模の大胆な拡充、売上消失でも続く資金流出を停止させる強力な政策発動を強く要請するものです。

経済の根幹は、人々の生活であり、それを支えているのは圧倒的多数を占め、各地域に根を張る中小企業です。奇しくも本年6月18日「中小企業憲章」の制定から10年を迎えます。そこでは「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である。・・・(中略)・・・そして、どんな問題も中小企業の立場で考えて行く」(前文)と述べられています。この意味に深く思いを致し、この困難を地域経済の根幹を成す中小企業が飛躍する契機とできるよう、政府には、政策の抜本的転換を進めるよう求めます。

.....

愛知中小企業家同友会とは

現在、愛知県下4,200名をこえる中小企業経営者が参加する異業種の経営者団体です。

「経営体質の強化」「経営者の資質の向上」「経営環境の改善」を目的に、国民生活に寄り添い、地域の経済・社会の担い手たる中小企業をめざした取り組みを進めています。

1. 名称 愛知中小企業家同友会
2. 会員数 4,217名(2020年5月1日現在)
3. 会長 加藤 明彦(かとう あきひこ) エイベックス(株)代表取締役会長
4. 事務局 名古屋市中区錦3-6-29 サウスハウス2階  
電話 052-971-2671 FAX 052-971-5406  
事務局長 多田 直之  
報道担当(事務局次長) 八田 剛、政策担当(事務局次長) 池内 秀樹